

## 施策評価調書(21年度実績)

政策体系	施策名	地域生活交通システムの形成	施策コード	IV-2-(2)
	政策名	交流を支える交通体系の充実	主管部局名	土木建築部
			担当課室名	建設政策課
施策概要	自動車への依存度が高く、かつ高次都市機能が都市部へ集中している本県では、住民の日常生活を支え交流人口の拡大につながる道路整備や、都市部とのアクセス時間を短縮することが求められており、地域の生活を支える道路整備や都市圏域の交通円滑化の推進に取り組むとともに、高齢者や子どもの交通手段の確保などのため、利用者が減少し、公共交通機関のサービス低下が懸念されている地域公共交通の維持・充実にも取り組む。			

### 【評価指標】

主な取組		指標		基準値		21年度			22年度	27年度
				年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値
①	地域の生活を支える道づくりの推進	i	日常生活の中心となる都市まで概ね30分以内に移動できる人の割合	H16	93.6	94.8	94.8	100.0%	97.0	99
		ii	救命救急センターに概ね60分以内に到達できる人の割合	H16	91.0	93.7	93.7	100.0%	94.0	95
②	都市圏域の交通円滑化の推進	iii	渋滞対策が必要な箇所数	H16	22	12	12	100.0%	9	5
③	地域公共交通の維持・充実	iv	公共交通機関(JR・バス)の利用者数(万人/年)	H16	4,271	4,271	4,255	99.6%	4,271	4,271
						平均達成率(%)		99.9%		

### 【業績評価】

No.	業績評価			
i	達成	県道成仏杵築線(朝来工区)などの道路整備により、日常生活の中心となる都市までの時間短縮が図られている。		平均評価
ii	達成	東九州自動車道(津久見～佐伯間)や中九州横断道路(千歳～大野)などの道路整備により、救命救急センターまでの時間短縮が図られている。		
iii	達成	都市計画道路庄の原佐野線(大分市大道～上野工区)の供用をはじめ、JR豊肥線と久大線の高架化による踏切での待ち時間の大幅な減少など、ハード整備が進展したことに加え、大分市中心部の道路を利用する企業等による通勤時のパークアンドライドや時差出勤などに取り組んできた結果、渋滞の緩和が進んでいる。		
iv	概ね達成	地域における交通手段の確保を図るため、コミュニティバスへの運行費の助成や、日常生活に欠かせない広域的・幹線的な民間バス路線の維持に努めると共に、公共交通の利便性向上施策や利用促進施策を進めた結果、利用者の減少を最小限に抑えることができた。		達成